

『Dの波紋』 寸評

- ・視覚的にも波紋を喚起する記譜
- ・フェルマータや音価の長い音符、そしてペダルが時間経過の視覚表象である波紋をえがきだす
- ・m.13 意外な休符のみごとな効果
- ・和声的ながらも時間の指向をみせない音遣い
- ・抽象的かつ親しみのあるタイトル

完成度をさらに上げるために

- ・m.8 右手 次の記譜でもよい



- ・m.9-10 拍子は $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{4} + \frac{1}{4}$ の方が内容に即している
- ・m.13 拍子は $\frac{3+3+2}{8}$ の方が内容に即している
- ・m.14 右手は全休符にフェルマータでよい

- ・m.15 b.1-2 右手の記譜 ペダルがあるから左手の全休符にフェルマータを



- ・m.16 右手



なるだけ拍で割り切れるように

- ・m.12 *molt* → *molto*

- ・m.15 b.3-4 右手 オクターヴにしてアルペジオでも
m.14 と対比の効果がある



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

構想、楽器への理解、16小節での変化のつけかた、
どれも文句なし。

持庵勉